第8回 市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	行政管理部
テーマ	市有施設のトイレのあり方について
日時	令和3年11月20日(土)午前10時~11時30分
場所	くにたち福祉会館
出席者	永見市長、藤崎行政管理部長、近藤建築営繕課長、江澤建築営繕係主査、高 橋主任、中神主任、東山主事
参加者数	10名
主な意見	【トイレ設備について】 ・学校へのウォシュレットの設置は進めないのか?特に小学校高学年の女子トイレにはあった方が良いという声がある。 【学校のトイレについて】 ・学校で男子が個室に入りづらいという話があったが、個室に入りづらいのであれば、男性でも大小含め個室でいいのではないかと思う。 【男女共用トイレについて】 ・外出先で異性の子供を連れた親が、小さい子供を一人でトイレに行かせる場面をよく見かけるため、やはり男女共用トイレは必要だと思う。・男女共用トイレという名前に違和感がある。男女の枠にとらわれない方には逆に使いづらいのではないか。 【市有施設のトイレについて】 ・矢川上公園公衆便所が不衛生であり、臭気がきついため改善してほしい。・トイレと共に、施設内の他の設備も皆が使いやすいものとしてほしい。・施設整備のみでなく、貼り紙等により、トイレをきれいに使用する啓蒙活動を進めることも大事だと思う。 【駅周辺のトイレについて】 ・駅周辺のどこの施設にどんなトイレがあるのかわかる表示が欲しい。・公衆トイレで起こる犯罪等の問題についても考えて欲しい。 【トイレの使い方について】 ・身体障害がある場合、自分が使えるトイレがあるか否かは、そこに訪れるか否かに直結する。手摺りをつけるだけで使いやすくなるし、大人用ベッドの設置が進むと尚良い。 ・ 近派なトイレを作るほかに、「市民トイレ」等のアイデア次第でやり方があるのではないか。 ・手洗い場の鏡や着替え台の設置は、使用時間が長くなるため、待たされることになり使いづらくなっていることがあるため、別の場所に設けると良い。
課題等	・開催について市報、市ホームページへ掲載したが、定員30人中10名の参加であったため、チラシ配布等により広範囲に周知することが必要だと感じた。 ・スライドや配布資料にはフリガナをふり、手話通訳をつけた。

